

電子カルテシステム導入コンセプト

1.医療安全

- ・医療安全に貢献するシステム（感染対策、セキュリティ対策を含む）

2.業務効率化

- ・情報の共有化（システム間データ引用、標準マスタ整備等）

3.働き方改革

- ・タスクシフト・タスクシェアを含むカルテ入力業務効率化検討

4.患者サービスの向上

- ・各種患者待ち時間短縮の検討

5.データ利活用環境の整備

- ・DWHの活用による経営、臨床統計、臨床研究データの効率的な作成

「2.業務効率化-情報の共有化（システム間データ引用、標準マスタ整備等）」に関する具体的な方針

業務効率化に関する方針

細分化された患者情報を電子カルテ上で一元的に確認でき、スタッフが情報を共有することで各自の作業能率の向上をはかり、受付から会計までをスムーズに時間がかからず、すべてが有機的につながる病院情報システムシステム（HIS）を作り上げる

業務効率化の達成指針

- 1) 外来・病棟でのあらゆるコストが一元化され医療事務に届き、迅速に会計処理、レセプト計上できるようにする
- 2) 紙カルテで行っていた情報を電子カルテ画面上から得て、患者の状況、目標を共有することで効率よく仕事に反映できるものにする
 - 電子カルテ上で完結できるようにする
 - 印刷してまた入れなおす作業等を省く
- 3) 将来の DX 化に対応する
- 4) 下記のシステムが連携し、外来・病棟の管理業務の効率化を図る
 - 電子カルテ
 - 検査システム（LIS : laboratory information systems）
 - 放射線科（RIS : radiology information systems）
 - 看護システム
 - 薬剤管理システム
 - リハビリシステム
 - 健診システム
 - 医事会計システム